



多くの人たちにとって身近で何でも気軽に相談できる診療所です—



須川診療所ニュース



これってどういう検査？シリーズ その②胸部 X 線検査



胸部 X 線検査とは

「息を吸って、止めて下さい」この言葉で多くの方が思い出していただけると思います。胸部 X 線検査は X 線を用いて肺や心臓などに異常がないかを調べる検査です。

胸に X 線を照射した時、たくさん空気を吸った肺は X 線が通り抜けやすいのでフィルムは黒くなります。逆に骨や水分は X 線が通り抜けづらいのでフィルムは白や灰色になります。心臓は血液があるので白く映ります。黒いはずの肺に白い影があったら肺がんや肺炎を疑います。

胸部 X 線写真でほぼ中央にある白いこぶし大のものが心臓です。心臓の働きが弱くなると血液を押し出す力も弱くなって血液が溜まってしまい心臓が大きくなってしまいます。心臓と肺の大きさの比率→心胸郭比(CTR)をレントゲン写真で計算し、心臓が大きくなったかどうかの指標としています。



検査を受けるときは金属やプラスチックなど硬い物ははずし、大きく息を吸ってしっかり止めることが大切です。こうすることできれいな X 線写真は出来上がります。

市民健診が始まりました

今年度も須川診療所は市民健診を行っています！

- 実施期間：6/1～10/31(乳がん検診は12月末まで受付)
- 健診予約でご来院時の持参物：健康保険証、受診券(あれば診察券も)
- ※新型コロナウイルス感染症対策として電話予約をおすすめしています。
ぜひご連絡ください TEL:024-531-6311

※新型コロナウイルス感染症の対策として市民健診の胃の検査は延期になっていましたが、7/13より再開となりました(～12/12まで)。

<生協オプション健診のご案内>

☆充実パック(税込 1650 円)

後期高齢者健診の方におすすめ(採血項目追加、心電図検査、眼底検査)

※採血の追加項目→HbA1c、貧血検査、クレアチニン、尿酸

☆健康応援パック(税込 3630 円)

骨粗しょう症検診、動脈硬化健診(バセラ)、内臓脂肪検診(CT)

※それぞれ単品で3つ受けるよりも15%お得に受けられます！！

詳しくはお問合せください。

※当院では健診前の体温測定、人と人との間隔の確保など感染症対策を行っていますので、ご了承ください。

※尿中の塩分を調べる食塩摂取量の検査も行っています(税込み 200 円)。気になった方はお気軽にご相談ください。

Dr中島に聞く！健康講座シリーズ⑤

漢方と感染症

～漢方薬とコロナウイルス感染症～



中島医師

2020年に入り程なくして新型コロナウイルスが国内に広がり、感染を予防するため自粛生活が始まりました。

日本でも治療効果が期待される薬の承認を急いだり、抗ウイルス薬やワクチンなどの開発が急速に進んだりと様々な対策が練られています。

2020年6月1日現在、福島県では新型コロナウイルス感染者は約1ヶ月間確認されていませんが、引き続き慎重な対応をしていく必要があります。

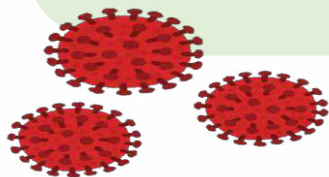


コロナウイルスに有効性が期待される漢方薬は？

金沢大学病院漢方医学科臨床教授／診療科長の小川恵子先生が感染症学会に特別寄稿した内容によると、無症状で病原体を保有している患者さんには、エキス製剤にもある「**補中益気湯**」と「**十全大補湯**」が期待できると書かれています。



中島医師



現在、福島県立医科大学附属病院漢方内科と会津医療センター漢方内科で三瀧忠道教授に師事し、修業中

須川診療所 医師 中島 大



科学的根拠の報告は？

「補中益気湯」

帝京大学の新見正則先生は、2009年の新型インフルエンザ流行時に予防効果について検討しました。内服した人、内服しない人、各179人に分けて8週間観察し、内服した人は1人、内服しない人は7人に発症が確認され、新型インフルエンザを予防できる可能性があるとして報告しています。また、動物実験でインフルエンザウイルス粒子と結合しやすく、細胞へ吸着・侵入を阻害することやインターフェロン(ウイルスに対抗できるような体内物質)レベルを増強されることが報告されています(2013年)。

「十全大補湯」

老化促進モデルマウスに投与するとインフルエンザ感染における生存率が上昇し、免疫低下した動物モデルで感染防御効果があることが報告されています(2009年)。また、ヒト対象で投与後にナチュラルキラー(NK)細胞機能が改善、さらに抑制系の活性化が示され、過剰な炎症を予防すると報告されました(2020年1月)。

※ナチュラルキラー(NK)細胞… がん細胞やウイルス感染細胞などを
見つけ次第攻撃するリンパ球

今後の治療薬は？

世の中に出ている西洋薬では、イベルメクチン、レムデシビル、アビガンは有効という報告は上がっておりますが、絶対有効であるとは断定できず、まだ有効性が高いものは見つかりません。「with コロナ」といわれ、新しい生活様式で過ごすことが余儀なくされております。漢方薬の助けを借りながら、一日も早い医療薬品の登場、今後の研究に期待しましょう。